

Eat Well, Live Well.

A photograph of three hikers standing on a rocky mountain peak, silhouetted against a bright, hazy sky. They are wearing backpacks and raising their arms in a gesture of triumph.

味の素株式会社 事業説明会
ICT・ヘルスケア領域の
アミノサイエンス®による持続的成長

取締役 代表執行役副社長

白神 浩

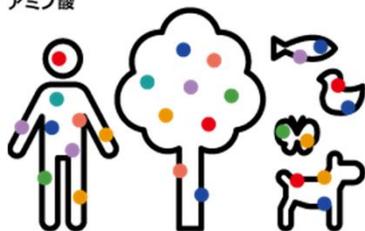
2023年6月13日

アミノ酸のはたらきに徹底的にこだわった研究プロセスや
実装化プロセスから得られる多様な素材・機能・技術・サービスの総称。
また、それらを社会課題の解決やWell-beingの貢献につなげる、
味の素グループ独自の科学的アプローチ。

アミノ酸

すべての生きもの
のカラダをつくる
基本物質

カラダのさまざまな
機能を担う



アミノ酸のはたらき

呈味機能

おいしくする

栄養機能

栄養を届ける

生理機能

体の調子を整える

反応性

新たな機能を生み出す

価値の創出

味の素グループの事業活動

食品系事業

アミノサイエンス[®]を
調味料・食品、冷凍食品に
活かした事業展開
(例：おいしさ設計技術[®])

アミノサイエンス系事業

アミノサイエンス[®]を
ヘルスケア等
に活かした事業

アミノ酸の4つのはたらきについて

呈味機能 ; 食べ物をおいしくする

アミノ酸の研究はおいしさに繋がります。
おいしさには、味だけでなく、香り、食感も大切。

味 ; グルタミン酸⇒うま味
アミノ酸の組み合わせ⇒ 甘味料
コク味物質



香り ; アミノ酸を利用した香り

食感 ; アミノ酸や酵素による食感改善



アミノ酸は、
五大栄養素の1つである
タンパク質の構成成分です。

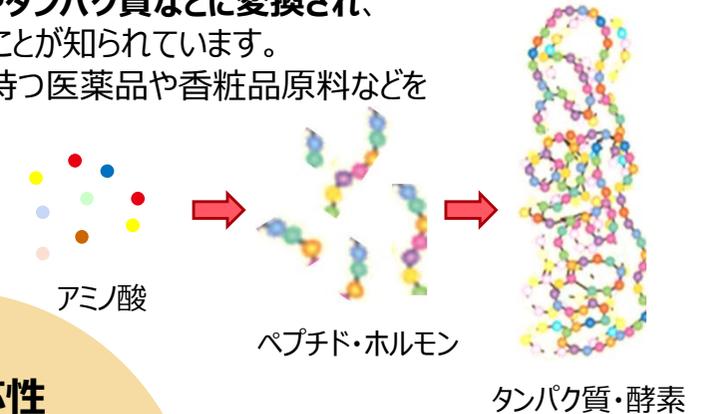


栄養機能 ; 栄養を届ける

アミノ酸そのもののもつ機能だけではなく、アミノ酸から生まれた素材による機能までを幅広く含む。

反応性 ; 新たな機能を生み出す

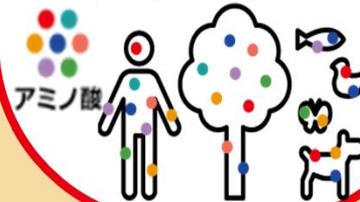
アミノ酸は、ペプチドやタンパク質などに変換され、
いろいろな機能を担うことが知られています。
新たな有用な機能を持つ医薬品や香料品原料などを
得ることもできます。



アミノ酸のはたらき

アミノ酸

すべての生きものの
カラダをつくる基本物質



呈味機能

おいしくする

栄養機能

栄養を届ける

反応性

新たな機能を
生み出す

生理機能

体の調子を
整える

アミノ酸や
アミノ酸からできる物質には、
心身の健康の維持・回復を
サポートするものがあります。



生理機能 ; 体の調子を整える

アミノサイエンス®から創出された事業

アミノサイエンス®は味の素グループ独自の競争力を持った価値創造の源泉。

100年を超えて様々な社会課題の解決に繋がる事業へ展開してきた。

アミノサイエンス®から創出された事業



4 領域でアミノサイエンス®による価値創造

ヘルスケア



人のカラダの深い理解を通じた治療や予防の進化、健康寿命の延伸に貢献する

フード&ウェルネス



食への深い理解を通じて人々の健“幸”と自己実現に貢献する

ICT



より高速で効率の高い半導体の実現、スマート社会へ貢献する

グリーン



地球との共生や環境負荷低減、将来世代のために新しい食のスタンダードを創る

アミノサイエンス®

アミノ酸のはたらき

アミノ酸

すべての生きもののカラダをつくる基本物質



4 領域でアミノサイエンス®による価値創造

ヘルスケア



フード&ウェルネス



アミノサイエンス®で

人・社会・地球のWell-beingに貢献する

ICT



グリーン

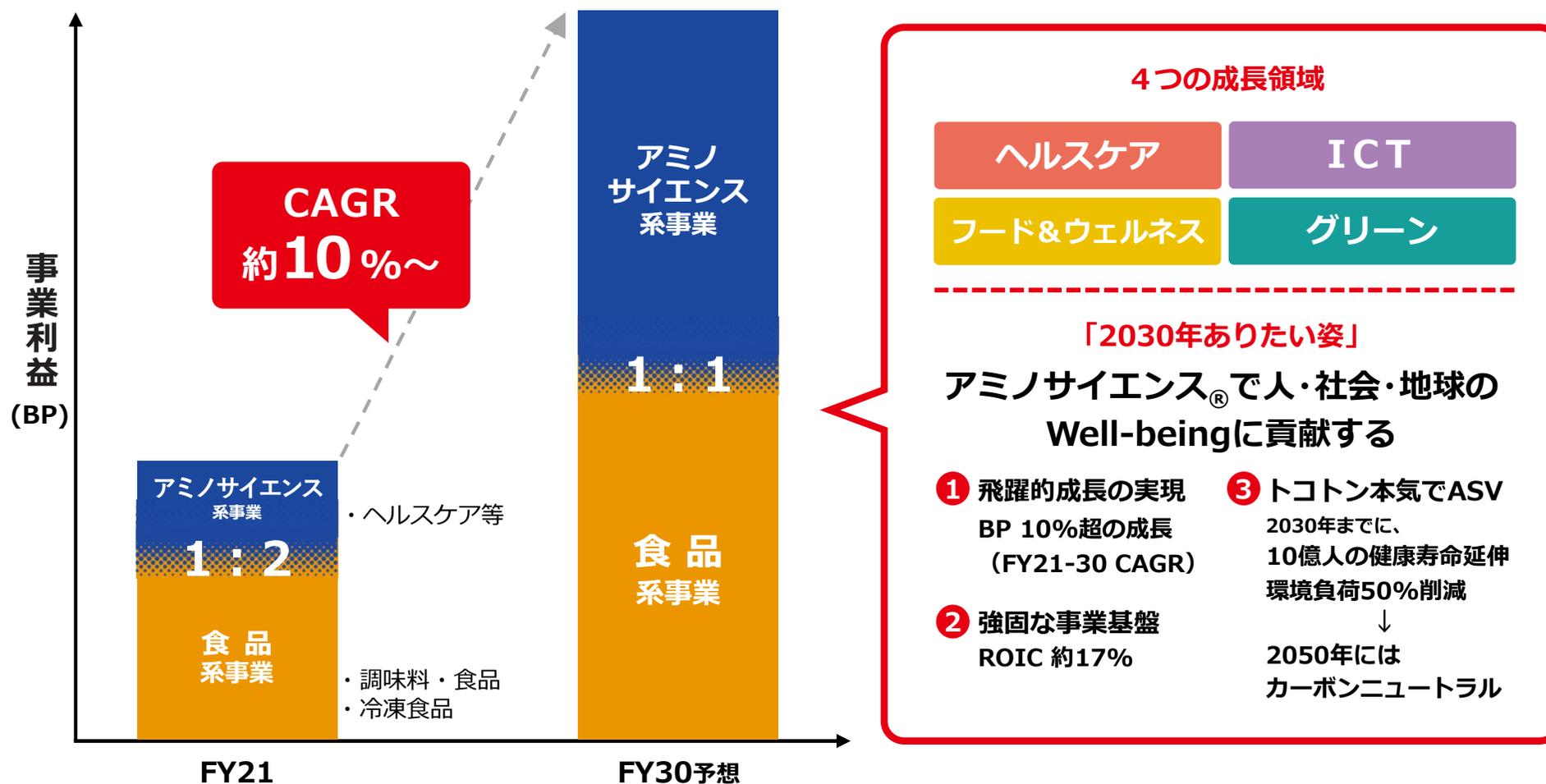


「Well-beingな未来への挑戦」(動画)



構造改革から成長へのシフト

重点事業の進化と成長をドライブする事業モデル変革（BMX）により、提供価値起点の4つの成長領域での成長へとシフトすることで、高収益かつユニークで強固な構造を目指す

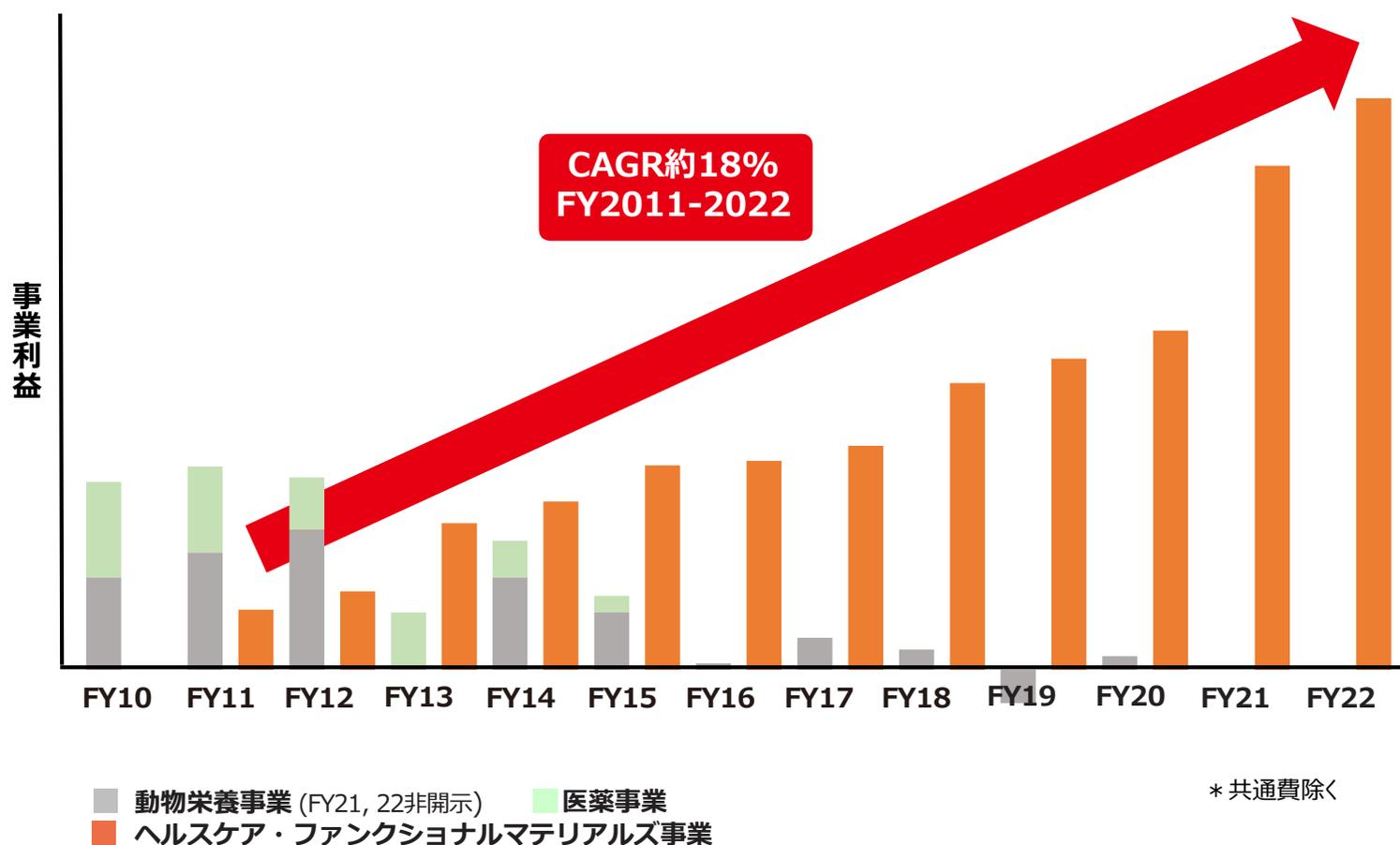


アミノサイエンス系事業の事業変革と成長

コモディティ化事業から、
高付加価値事業へのシフト

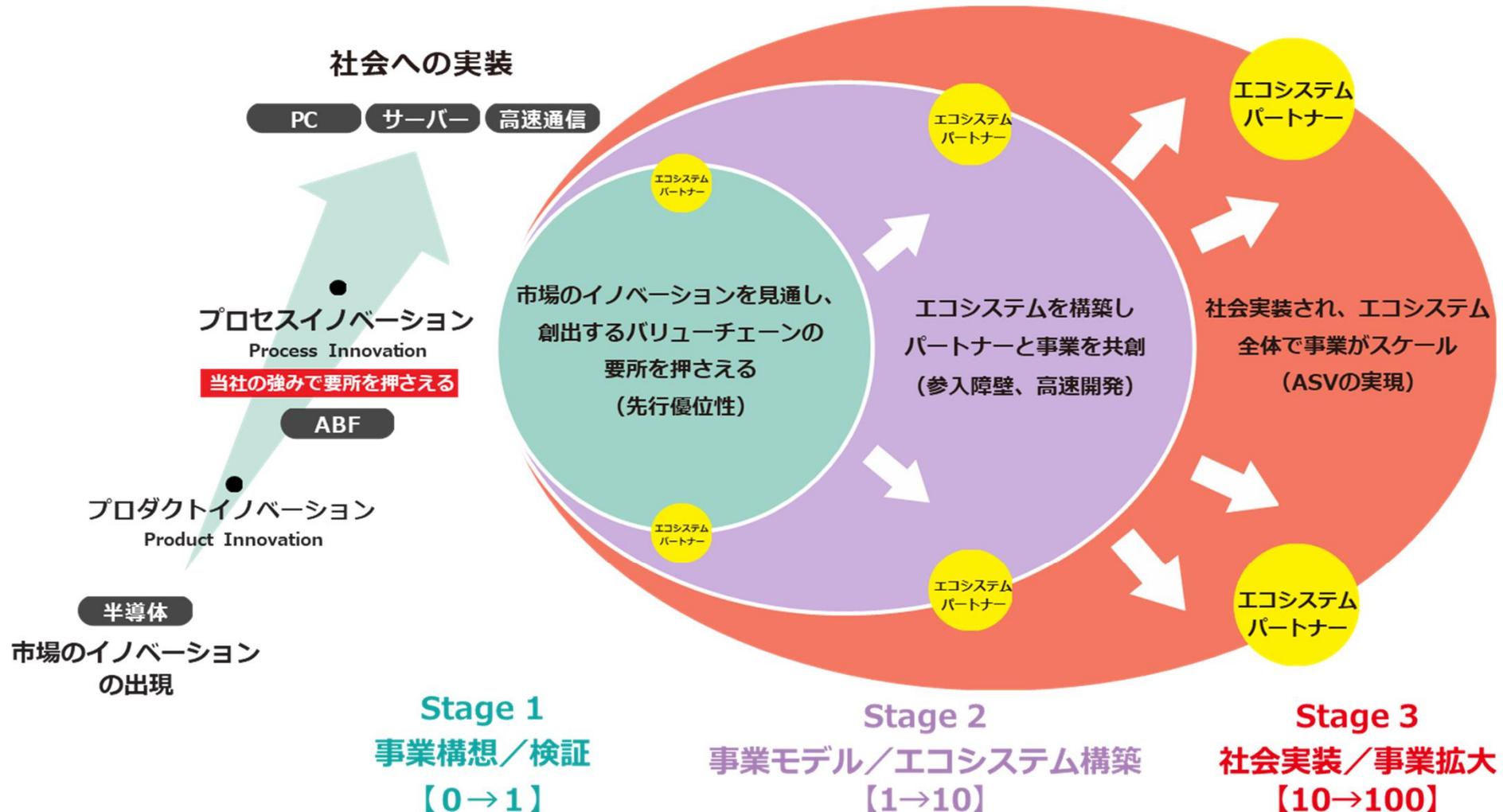
構造改革と、事業モデル変革による
高付加価値事業への転換

事業モデルの進化継続、
スピードアップ&スケールアップ



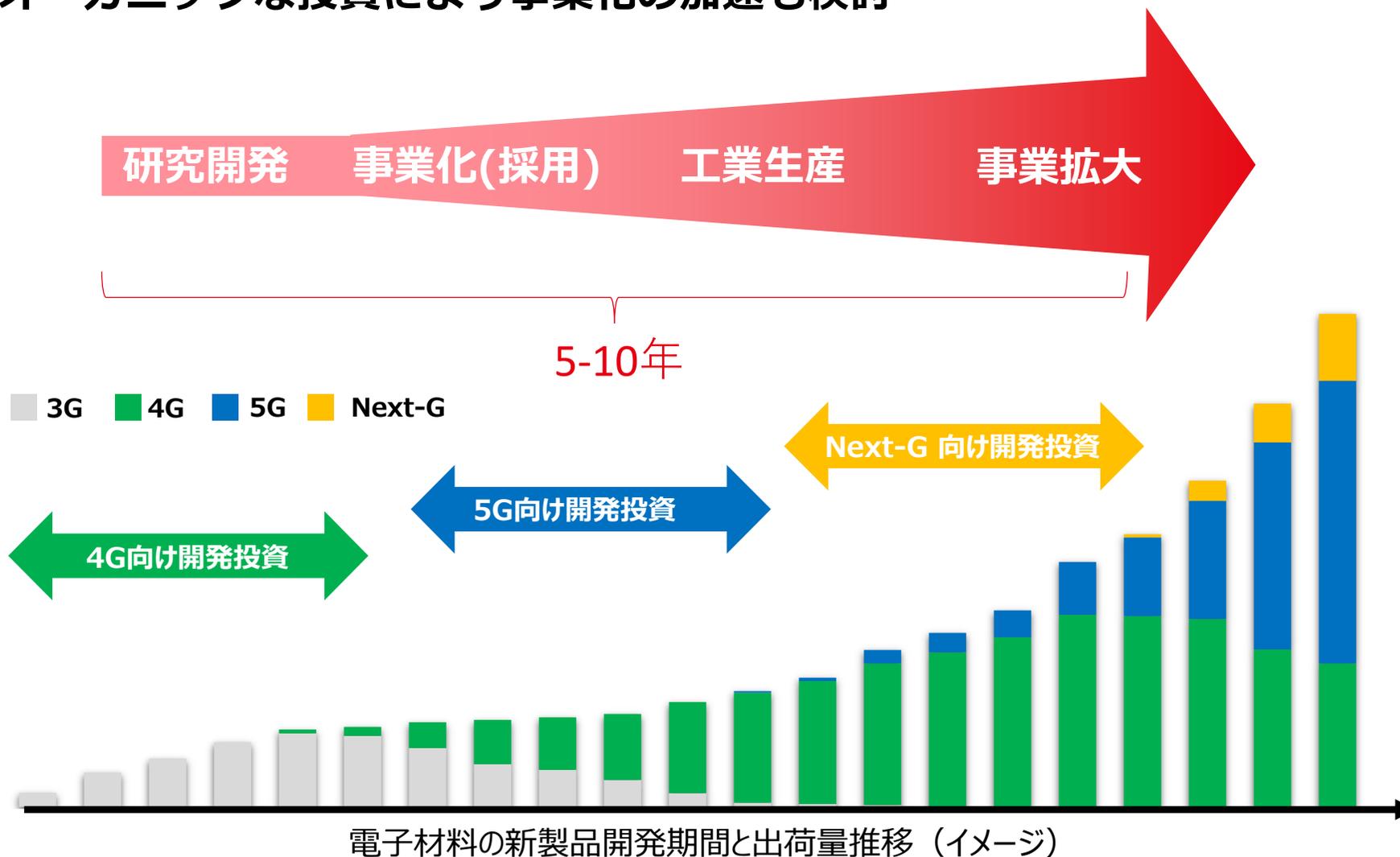
アミノサイエンス系事業の事業モデル変革の型

- ✓ イノベーション先取り、鍵となる独自価値をいち早く創造（アミノサイエンス®の進化）
- ✓ エコシステムパートナーとの共創により社会実装
- ✓ 既存アセット（有形・無形）を有効活用、進化



ICT・ヘルスケア領域の事業開発の特徴

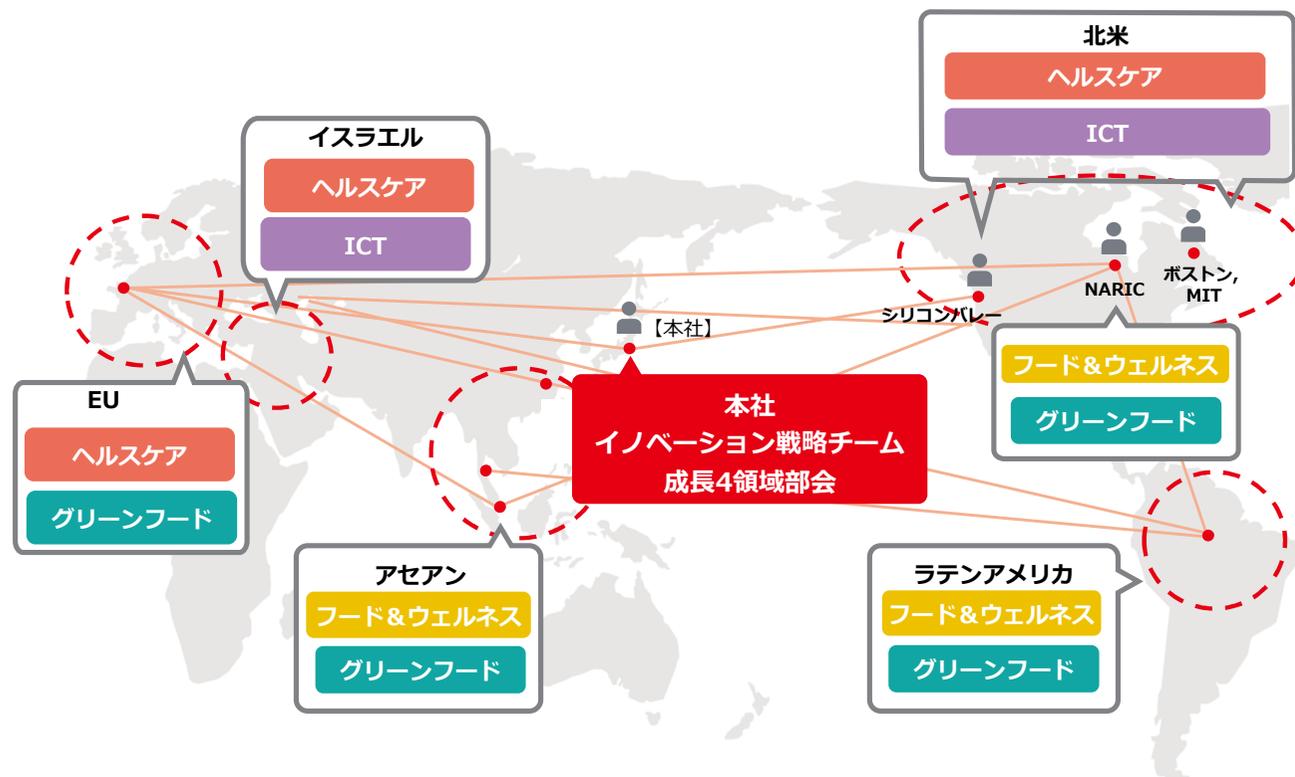
- ✓ 市場モダリティやイノベーションを見通し、本格事業化から5-10年先行して開発投資
- ✓ インオーガニックな投資により事業化の加速も検討



イノベーション戦略チームによるインオーガニック戦略の強化

成長戦略実現に向けてグローバル市場・顧客・イノベーションに直接アクセス、インオーガニック投資やエコシステム構築、パートナーリングをスピーディに検討・判断するイノベーション戦略チームを組成

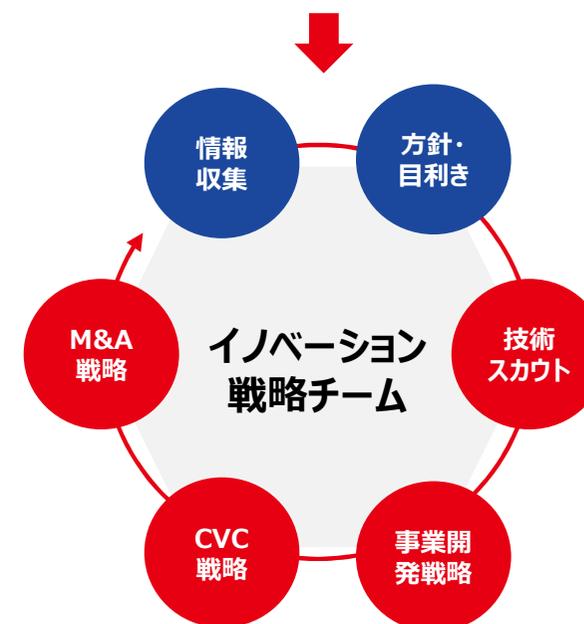
グローバル構想



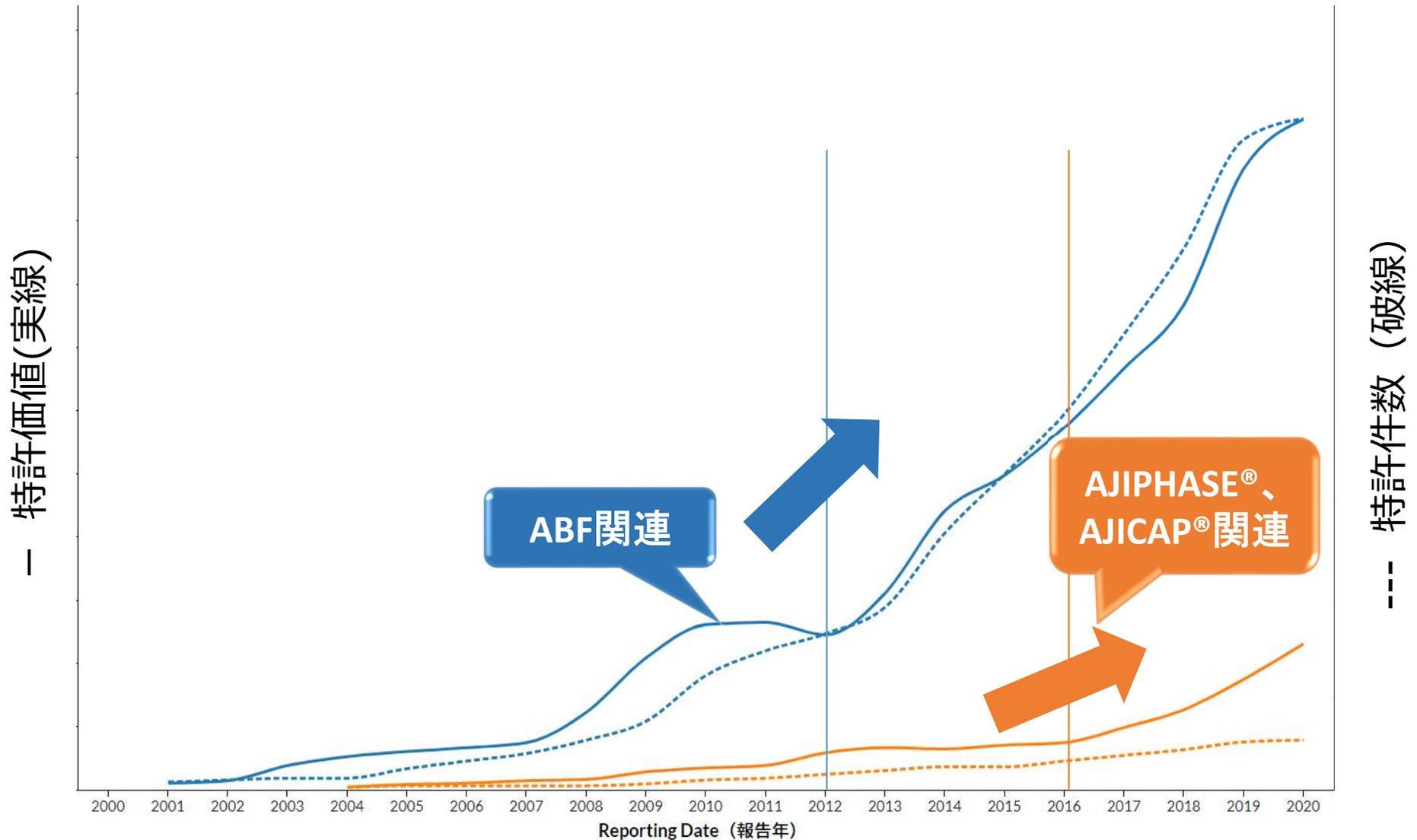
イノベーション戦略チーム役割



成長戦略



ICT・ヘルスケア領域の特許による参入障壁



配合特許(ABF)に比べ、コンセプト特許(AJIPHASE®,AJICAP®)は特許件数が少なくなります

味の素グループの成長戦略の全体像

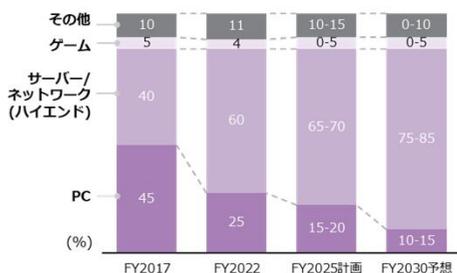
味の素グループの持つ有形・無形資産を活用し、独自のアミノサイエンス®を進化することで、既存事業の成長と、BMXにより成長を加速・拡大する

本日のトピックス

ICT

ABFの成長を支える基盤強化

【ABF用途別数量の推移】



増産投資、BCP対策

ABFの進化・拡大、新領域・新材料展開

【HPC市場 (デバイス) の伸長】



進化・拡大、新領域・新材料

ヘルスケア

基盤事業の確実な成長



既存設備、顧客チャネル

戦略事業による成長加速



Modalityの進化・高齢化・個別化

新技術、新サービス

フード&ウェルネス

エリア戦略強化による成長戦略



グローバルB2B、B2C
マーケティング・チャネルの進化

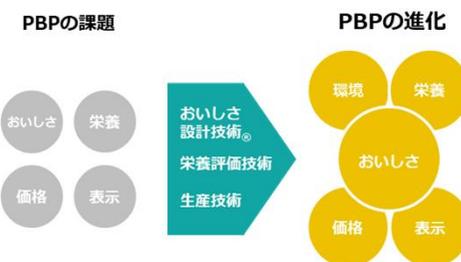
一人ひとりの嗜好にあった健康栄養価値の提供



デジタル化
カスタム化、パーソナル化

グリーン

PBP*向けソリューションの強化



PBPの課題解決

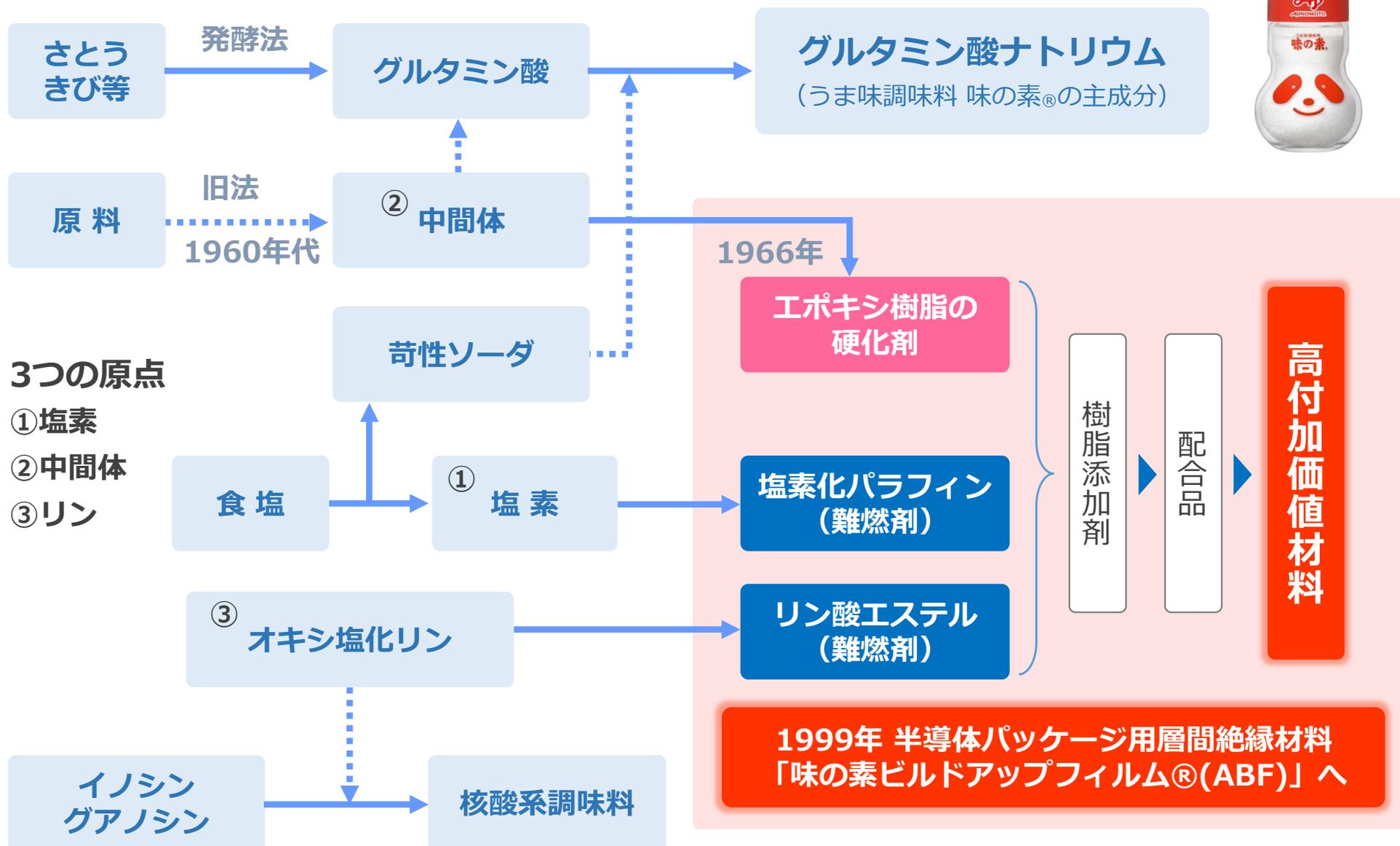
新しいフードシステムの構築とB2C展開



培養肉、新素材、B2C展開
アグリソリューション

アミノサイエンス®による化成品・電子材料のはじまり

・・・副生成物や中間体、技術の有効活用・・・



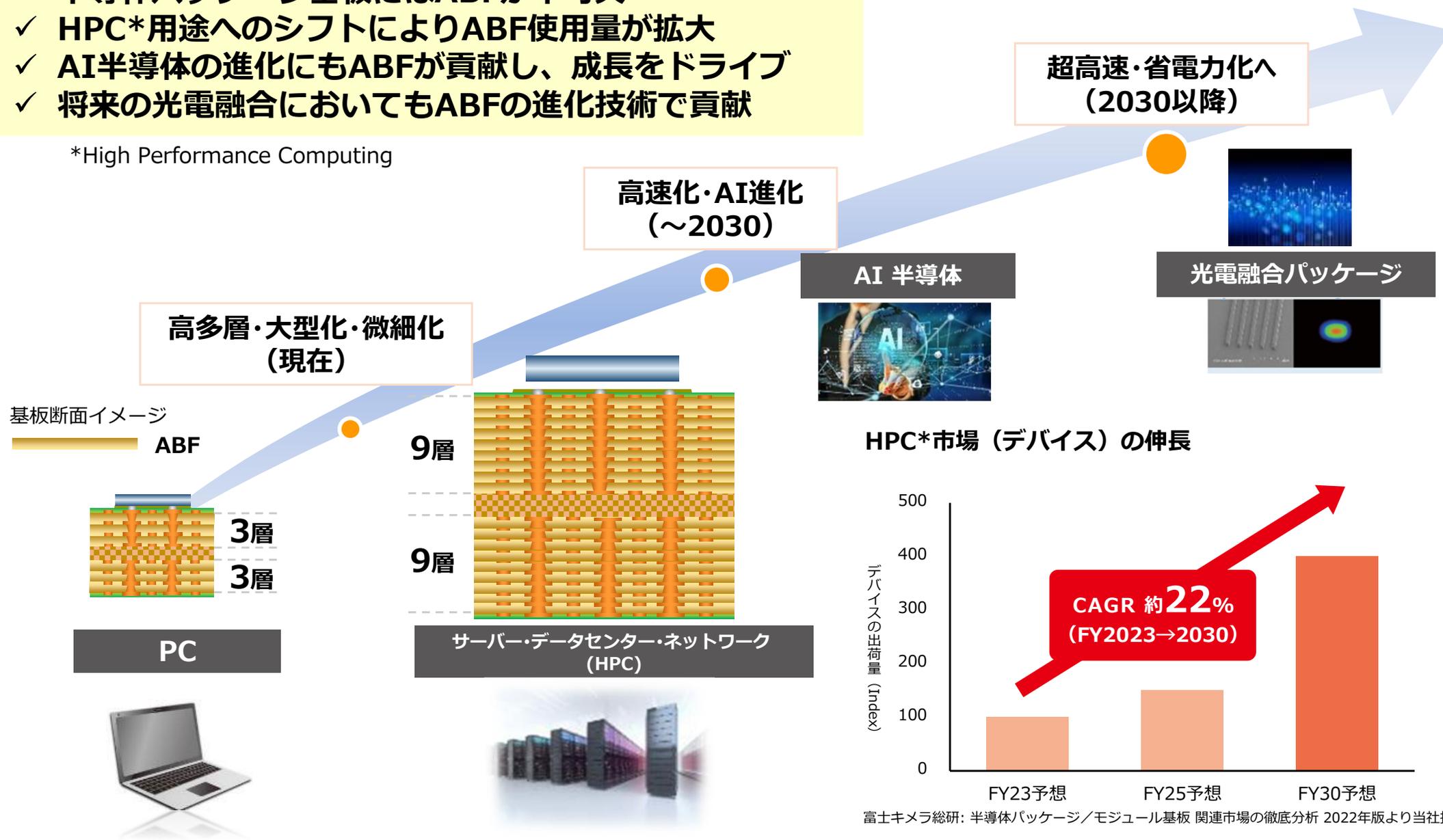
3つの原点

- ①塩素
- ②中間体
- ③リン

半導体進化とともにあるABFの進化とICT領域の成長

- ✓ 半導体パッケージ基板にはABFが不可欠
- ✓ HPC*用途へのシフトによりABF使用量が拡大
- ✓ AI半導体の進化にもABFが貢献し、成長をドライブ
- ✓ 将来の光電融合においてABFの進化技術で貢献

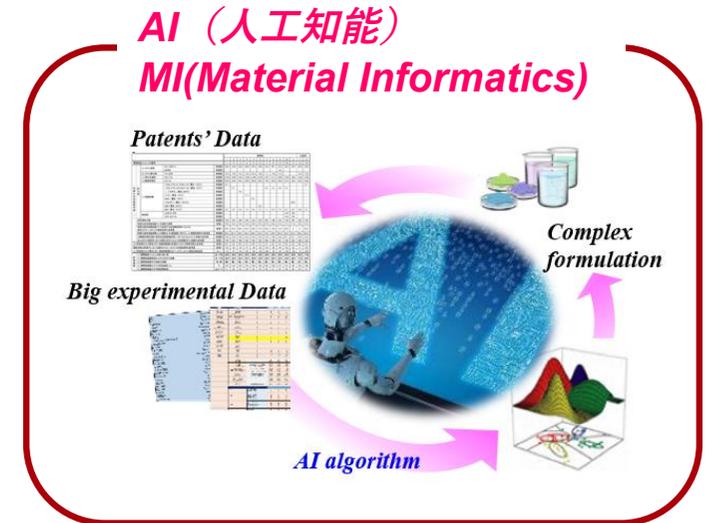
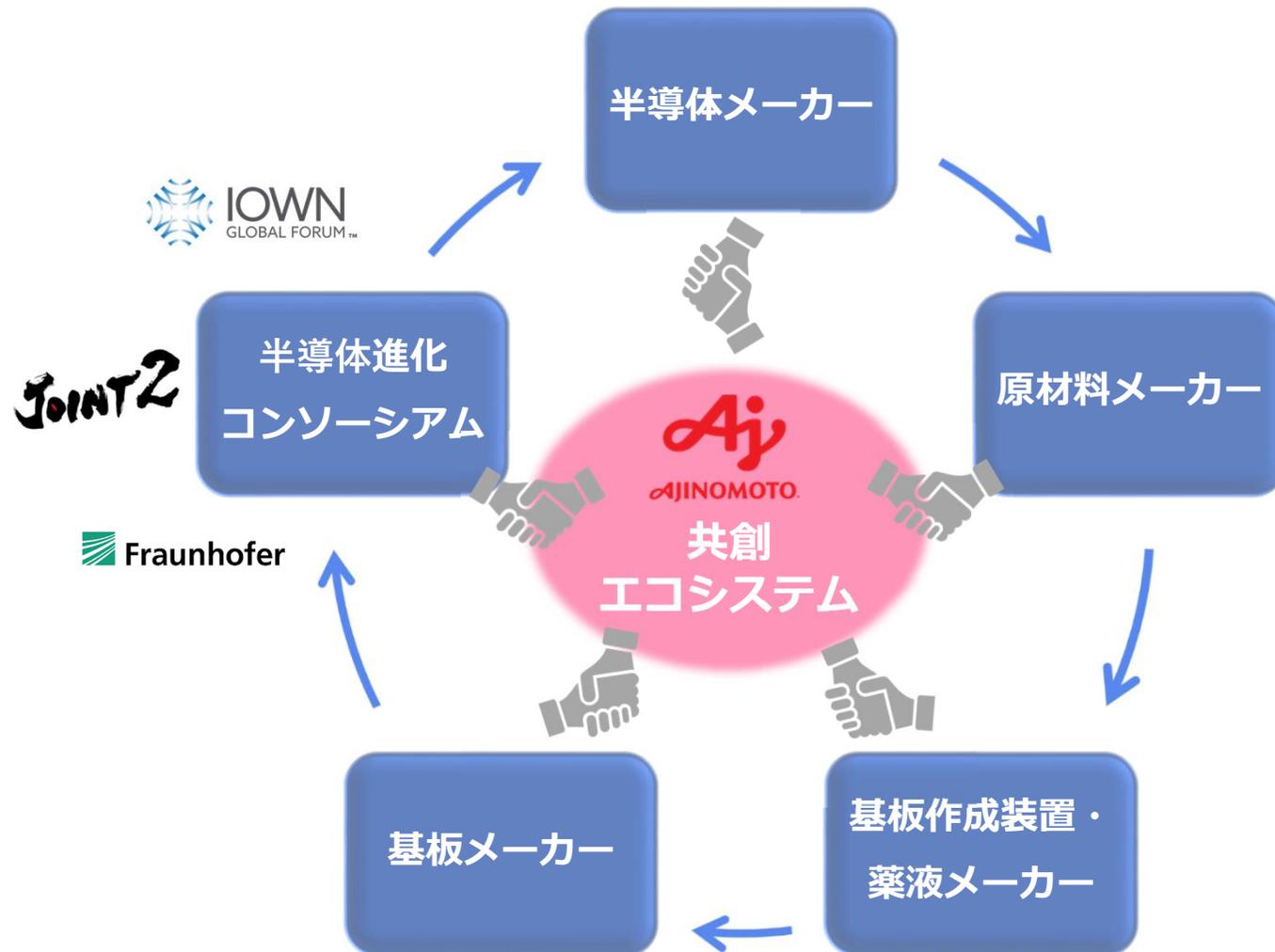
*High Performance Computing



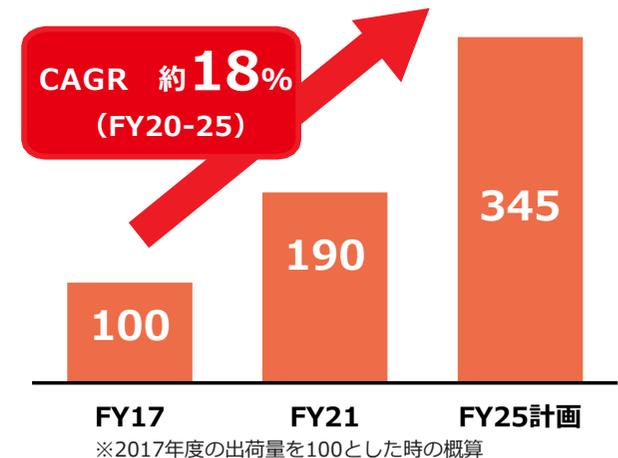
共創エコシステムによる持続的成長

半導体開発バリューチェーンに関わるプレイヤーが一体となり半導体の進化を実現
ABFのデファクトスタンダードの強みを活かし、ICT領域の持続的成長を目指す

【半導体開発バリューチェーン】



味の素ビルドアップフィルム®出荷数量推移



ヘルスケア領域の事業モデル進化の変遷

事業モデル・アミノサイエンス®の進化

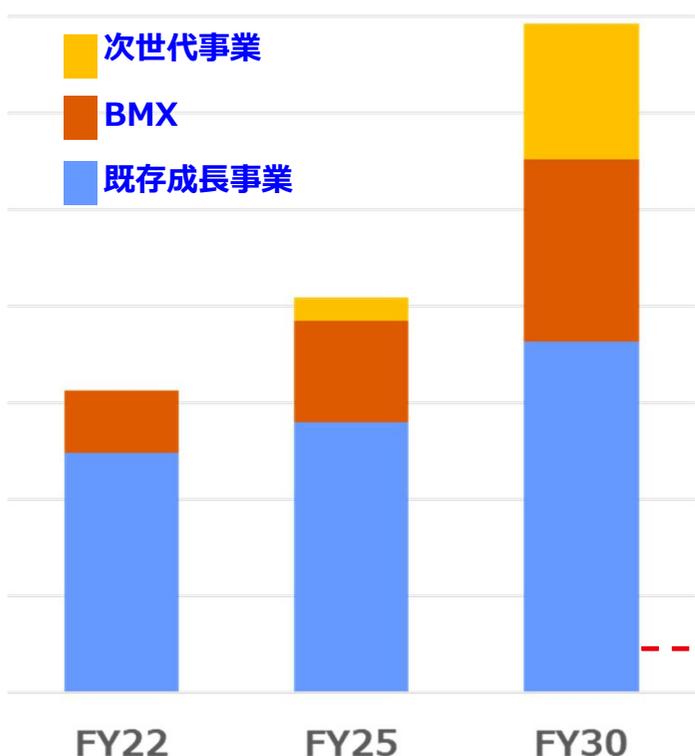
: M&A



ヘルスケア領域の成長戦略

- ✓ アミノ酸や低分子医薬分野等の既存事業は引き続き成長
- ✓ BMX(核酸医薬や培地、メディカルフード)が今後大きく成長
- ✓ 次世代事業（遺伝子治療・細胞治療）分野で先端モダリティーへの成長布石

【成長イメージ】

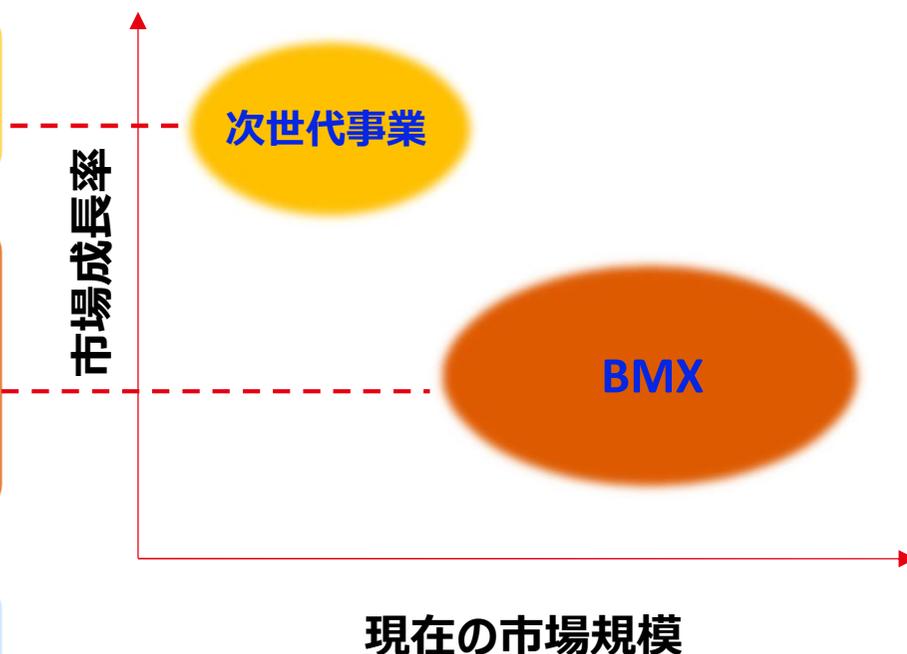


次世代事業：
遺伝子治療、
細胞治療、等

BMX：
中・高分子医薬、
培地、培地素材
(バイオ医薬・再生医療)、
メディカルフード、等

既存成長事業：
アミノ酸、低分子医薬、
化粧品、等

【ターゲット市場（成長率 x 規模）】



Eat Well, Live Well.



- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。
- 本資料の金額は、切り捨てで表示しております。
- アミノサイエンス®は味の素株式会社の登録商標です。